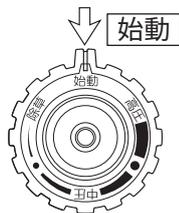


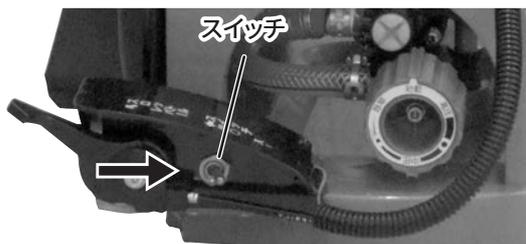
エンジンの始動方法

KOSHIN
ES-P シリーズ

1. 調圧ハンドルを「始動」にする

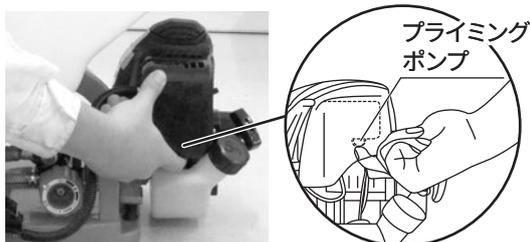


2. スイッチを「入」にする



3. プライミングポンプを10回押す

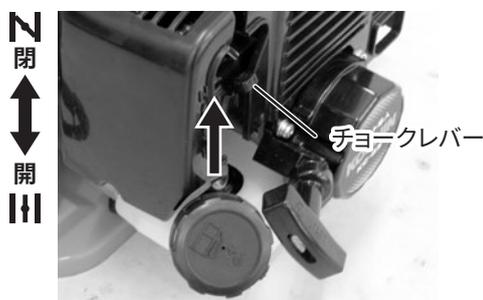
ガソリンを吸い上げるために、プライミングポンプを繰り返し押します。



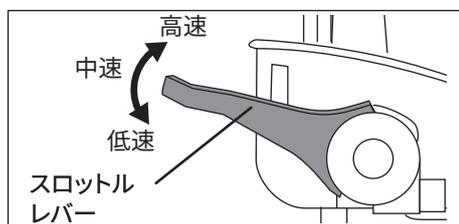
※カバーの内側にあります

3. チョークレバーを上側(閉)にする

エンジンが温まっている場合や、夏期はチョークレバーを下側(開)にします。



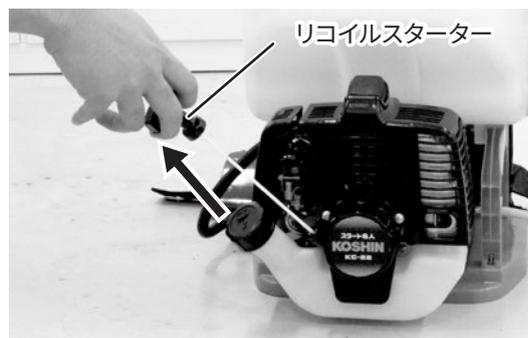
4. スロットルレバーを「中速」にする



5. リコイルスターターを引く

本機をしっかり押さえ、リコイルスターターを引いてエンジンを始動します。

※このリコイルは、ゆっくり引いても始動します。強く引きすぎるとひもが切れたり故障の原因となりますので強く引きすぎないでください。

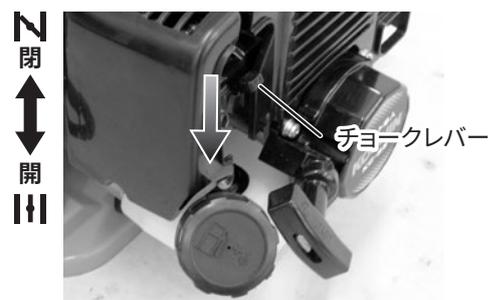


リコイルスターターを4~5回引いても始動しない場合は、チョークを下側(開)にし、リコイルスターターを引いてください。

それでも始動しない場合は、チョークレバーやスロットルレバーの位置を変えて、繰り返ししてください。

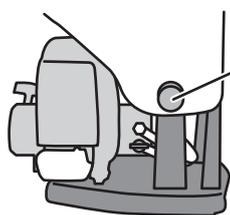
6. チョークレバーをゆっくりと下側(開)にする

エンジンが始動したら、チョークレバーをゆっくり動かしてください。



長くお使いいただくために

❗ ドレンキャップは確実に締める



ドレンキャップ 薬液または水をタンクに入れる前にドレンキャップにゆるみがないか確認をしてください。

⊘ 空運転禁止

エンジン始動前にタンク内に薬液または水が入っていることを確認してください。故障の原因となります。

❗ スロットルレバーは高速に

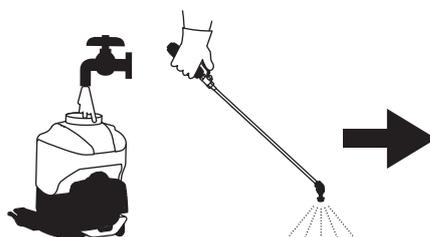
噴霧の前にスロットルレバーは高速にしてください。
中低速で運転すると、未燃焼オイルがマフラーより排出される場合があります。

❗ 使用後は薬液を洗い流す

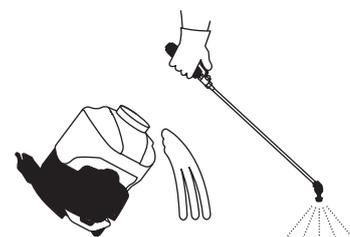
使用後は清水を2～3分噴霧し、ポンプ・ホース・ノズル内の薬剤を洗い流してください。



タンク内を清水でよく洗い、薬液を洗い流す。



2L以上の水をタンクに入れ、1分間噴霧する。



タンクの水を捨て、噴口から水が出なくなるまで噴霧する。

❗ ぶつかけたり落としたりしたときは、必ず点検する

破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。